

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	よむとすinいいだ事業	会計	一般会計	事業No.	806	施策順No.	28-008
		事業種別	政策・その他	予算科目	0予算事業		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり	課等名			図書館		
施策	28 学習交流活動の推進	事業期間	開始	14	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人) (H21.10.1人口)	107259	106630	105691	105691	105691	
	意図	市民のあらゆる年代層への読書活動の推進により、市民の心豊かな生活を支援。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	読書活動推進の各種講座参加者総延べ人数	16251	16595	20206	13000	23592	20000	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	中央図書館耐震工事休館及び分館データ化事業休館(6分館)等で休館があったにもかかわらず、参加者は昨年より多くなった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	あらゆる年代層に向け図書館利用体験・図書館資料体験・図書館業務体験や児童・生徒への講座・読書団体への支援などを行い、読書活動の推進・図書館利用促進を図る事業。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 図書館業務体験(中・高・大学生等の職場実習) 2 図書館利用体験(図書館見学と利用説明会) 3 図書館資料展示会・解説会等(貴重資料展) 4 図書館まつり参加(映画会・読書会・講演会) 5 児童・青少年・障がい者・高齢者及び多文化サービスの事業はそれぞれの進行管理表にて管理。	1 図書館業務体験 2 図書館利用体験 3 図書館資料展・解説会 4 図書館まつり参加者 5 その他事業総参加者数	1 45件 127人 2 82件 2,086人 3 1件 167人 4 12件 1,075人 5 20,308人
23年度実施計画	1 図書館業務体験(中・高・大学生等の職場実習) 2 図書館利用体験(図書館見学と利用説明会) 3 図書館資料展示会・解説会等(貴重資料展) 4 図書館まつり参加(映画会・読書会・講演会) 5 児童サービス 6 青少年サービス 7 高齢者・障がい者サービス 8 多文化サービス	1 図書館業務体験 2 図書館利用体験 3 図書館資料展・解説会 4 図書館まつり参加者 5 児童書の貸出冊数 6 ヤングコーナー図書の出借冊数 7 (1)録音図書の貸出タイトル数 (2)大活字本の貸出冊数 8 (1)外国語図書の蔵書数 (2)外国語図書の貸出数	1 件 50人 2 件 80人 3 件 180人 4 件 500人 5 350,000冊 6 83,000冊 7(1) 3,700タイトル (2) 3,200冊 8(1) 3,500冊 (2) 1,100冊

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	*この事業費は図書館維持管理事業費・図書館運営事業費に計上。
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		0		0		
計(A)		0	0	0		
正規職員所要時間			3,000			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			10,728			
トータルコスト A+B			10,728			

4 事業に対する市民や議会の意見

「第5次飯田市基本構想基本計画推進委員会」の平成20年度提言として、団塊の世代等大人への読書普及とメディアの発達に伴い活字離れへの対応が課題とされている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	学びの機会が得られる	施策の成果指標又はムトス指標	学習交流を行っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	あらゆる年代層へのアピールを館内外で行い、参加者が増加しつつある。読書活動の裾野が広がるように努めてきた。		
	後期に向けた課題	広報活動の工夫		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	保健課・公民館はじめ多くの関係機関・団体との連携により参加者の拡大を図ってきた。また講座及びイベントも各世代向けを考慮し実施してきた。		
	後期に向けた課題	関係機関・団体との連携の推進		
コストを削減するためにどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	講演会・講座等資料費を一部参加者負担で実施。		
	後期に向けた課題	特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	読書活動の推進は図書館の責務であり、適切。		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	図書館まつり実行委員会が、図書館の応援団として読書活動普及に貢献。		
	後期に向けた課題	特になし		
全体を通じて	4年間の振り返り	各種取組により読書活動推進を推進し、「結いタイム」の推進にも繋げてきた。図書館利用の幅広い分野で多様な主体との協働も進んできた。		
	後期に向けた課題	関係機関・団体との連携推進		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------